

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスポコアポコ福岡南				公表日	2025年 2月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・児童が集中して取り組めるように机の配置等決めている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・職員が全体を見られる位置に配置できている	・送迎のみ職員が足りていないと感じる時がある。増員を検討。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・玄関以外に段差がなく歩きやすい	・玄関に段差があるため車いすの利用が難しい。今後車いすを利用する児童が利用する際は改善が必要かと思う。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・朝礼で前日の振り返りを行っている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・保護者からの評価表をもとに話し合いを行い、保護者会の回数を増やしたり支援内容に変更を加えたりと積極的に改善につなげている。	・ホームページに載せているが、ホームページの認知度が低い可能性がある。SNS等も活用して周知していく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・不定期だが事業所内・法人内研修を実施	・令和7年より新たに月1回の定期的な研修機会を設けていく		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・児童ごとに必要なアセスメントを取ったうえで計画の作成に活かしていると思う。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・Vinelandや認知行動、眼球運動など児童に合わせて適切なアセスメントを実施している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・月1回定期的に行っている。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・同じような活動が重ならないように意見を出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・長期休暇も含め毎日必ずミーティングを行い情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・全体での打ち合わせは翌日に行っているが、必要に応じてその日のうちに情報共有を行っている。	・活動を行った日に振り返りを行うことができていないため、余裕があれば行いたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・今年度記録の書き方研修があり、より具体的にかつ正しい記録を書くように心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・3ヶ月に一回モニタリングを実施し、相談員へ共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・参加前にサービス担当者会議で話す内容について複数の職員で話し合っている。 ・児発管が基本的に参加。その児童を担当する職員も一緒に参加することもある。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・送迎時のトラブル発生時は速やかに連絡を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・児童の支援や様子によっては保育所や幼稚園に連絡し、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	・支援引き継ぎシートなどを作成し情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		・今後児童への支援を行っていく中で助言をいただけると助かるのでそういった機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	・近隣の高校の文化祭に行く等関わる機会がある。	・今後他の放デイや地域の子どもと交流する機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		・今後参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・個別支援会議だけではなく、送迎時に児童の様子を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・保護者交流会などで簡易的なペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2		・家族の意向確認はできているが、こども自身への確認が不十分だと感じる。今後は3ヶ月に1回程度聞き取り等行っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・送迎時や会議の際に都度応じている。また相談があった場合は朝礼時に共有し支援方法などを職員間で話し合っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		・保護者会や展示会などを通して交流の場を設けている。 ・より近い学年の保護者同士で連携できるように工夫している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・会報や行事予定表の他にSNSなどを活用して情報の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・口頭で伝えるのが難しい場合は書類に記載して渡しながら説明するなど工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・今年度は展示会を開催し、近隣の放デイの職員や担任の先生との交流の機会を設けた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		・職員間では共有しているが、保護者には知らない人も居るのではと思う。特に感染症については毎年同じような質問をされるので、今後マニュアルの共有や事前のお知らせが必要だと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・年に2回避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		・食物アレルギーがある児童が入所した場合は必要に応じて医師の指示書に従って対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		・会報やSNSを通じて周知徹底を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				